

鳩 陵 会 館 並 び 式 多 目 的 運 動 広 場 落 成 式 を 挙 行



〒387-0007 長野県千曲市屋代859-10
発行所 長野県屋代高等学校 同窓会
電話番号 (026) 274-3310
ホームページ http://hatokai.jp
発行人 赤地憲一
印刷所 カシヨ株式会社

新同窓会館で平成三十年度総会開催

平成30年3月18日(日)、同窓会館「鳩陵会館」の落成を祝う式典が、3年前に完成していた多目的運動広場の完成と併せて挙行された。

式典は、宮坂裕子さん(高39回・バイオリン)と柳澤和恵さん(高39回・ピアノ)の伴奏により、参加者90余名による校歌の斉唱で開式され、赤地憲会長は、地権者の神尾房子様の格別なご理解、支部長・理事はじめ役員の方々の力、及び技術の粋を駆使して建設いただいた(株)春原木材様、長坂建設(株)様に深甚な謝意を述べた。

来賓として出席された母校・森山弘之校長は、「生徒の勉学や研修の場としても教育活動の充実発展に繋がる。」と期待され、名誉会員の瀬在幸安氏(高1回)は「教育は一国の盛衰を左右する。会館建設は教育の礎を築く一歩」と述べた。



会館並びに多目的運動広場の落成に感謝を申し上げます 教育者としての長谷川五作先生(その七)「お孫様に出会う」

会長 赤地憲一 (高17回)

残暑の厳しい折、会員皆様には、まずはご自愛のほど心よりお祈り申し上げます。日頃は母校のために格別なご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この上は、その建設理念である「同窓生の親睦の場として、また母校に学ぶ生徒達の補習やクラブ活動の場として、また地域に開かれた諸事業の場として、以て母校の層の発展に寄与することに歩み出さすことができます。これは、全ての会員皆様とともに、大きな喜びとするところでございます。

落成記念講座始まる

落成式典に続いて、会館の建設理念である「地域に開かれた諸事業により以て母校の二層の発展に寄与する」に基づき、第1回の記念講座が開講された。

宮崎和順名誉会長は「代数学の初歩―神祕律の証明」と題して専門性の高い講話をされた。また、折しも平成24年度県下で初めてとなる「公立中高貫」校に入学した生徒が卒業したことから、その卒業生の塚田龍虎君(東京大学文系)の竹内恒旗君(群馬大医学部2年)、理数科卒業の村数君(東京大学博士課程3年)の3君により「屋代の学校文化を語る」と題する対談が行われた。

定期総会

平成30年度の総会は5月26日(土)午後新装となった同窓会館にて開催された。

昨年度の事業(特に同窓会館建設とそれに関わる募金活動)報告、決算報告等が行われ、続いて今年度の事業計画、予算等が承認された。また、平成30年度の役員選任の中で、新津知可子副会長の退任が了承され、当面の間女性副会長は空席となる。なお、新津氏は事務局の仕事については引き続き担当する。

定期総会記念講座(講演)

定期総会の後、名誉会員瀬在幸安氏(高1回)による記念講演が行われた。「写真」。演題は「魂のふるさと屋代―心臓外科医の思いと歩み」。長谷川五作先生との出会いに始まる高校時代の思い出から研鑽を積まれた留学時代、日本初の心臓移植、そして瑞宝大綬章まで、第一線で日本や世界の心臓外科の世界を牽引してこられた氏の業績が熱意の籠った言葉で語られた。

この講演会には長谷川五作先生の孫に当たる長谷川徹氏(高38回、長野市松代在住)も出席され、瀬在氏と「メンデルの法則」にまつわる秘話も披露された。なお、長谷川家に残されている五作先生の遺品の一部が同窓会に寄贈され、展示される運びとなった。(第4面参照)



支部長歴任者へ感謝状

総会席上、二十九年年度で退任された各支部長に、同窓会から感謝状と記念品

「教育者としての長谷川五作先生」(母校勤務・大正12年・1923年、昭和30年・1955年)について書かせて頂いておりますが、今回は名誉会員・瀬在幸安博士(高校1回・第10代日大総長・心臓外科学)の恩師に対する篤い思いです。1900年は、メンデルの法則の再発見の年で、瀬在先生

(額縁)が贈られた。長年に亘り支部をまとめられ、組織の発展に寄与された各位に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

は、この年にすでに長谷川先生がその論文を読んでおられたことに、かねてから驚嘆され、「何によりそれを知り、どんな風に興味を抱かれたか。」を「週刊新潮」の「尋ね人掲示板」に寄稿されて(平成17年6月9日号)、その情報を世に求められました。しかし、その反響がなかったことに、瀬在先生が少々落胆されていたと伺いました。ところが、13年後のこの3月、「会館落成番組」を制作する過程で、長野朝日放送の宮崎芳之ディレクターから、長谷川邸を守るお孫様の存在を知られたこと、さらには長谷川邸を訪問させていただく機会に恵まれました。長谷川徹氏(高38回)です。驚いたことは、13年前の瀬在先生の「週刊新潮」を保存されておられ「めったに買わない週刊誌でしたが、東京のE電の中で読んで、偶然尋ね人掲示板」を読みました。名乗りでるのは恐れ多く、そのま

まになつては保存してきまして、偶然にしては、実に不思議なこと、先生の篤い篤き恩師への思いを感じております。

- 支部 お名前 (順不同・敬称略)
- 上田 岡沢今朝仁 (高6回)
- 植生 柳澤 純 (高13回)
- 倉科 池田 均 (高14回)
- ・新瀬下 勝栄 (高15回)
- 稲荷山 山崎 敏夫 (高9回)
- 寺尾 和正 (高12回)
- 川中島 飯田 洋一 (高13回)

平成29年度一般会計決算書

収入金額	11,286,062円	支出金額	8,283,950円	差引残高	3,002,112円	(次年度繰越金)
収入の部 (単位:円)						
科 目	予算額	決算額	増△減	備 考		
1 繰 越 金	1,148,379	1,148,379	0	前年度より		
2 入 会 金	1,680,000	1,680,000	0	6,000円×新入生280人		
3 年 会 費	8,000,000	8,058,000	58,000	振込のべ1,379人、支部のべ2,879人		
4 協 力 金	200,000	396,280	196,280	同期会ホームカミング寄付		
5 雑 収 入	121	3,403	3,282	利息、コピー代、高校3学年から		
合 計	11,028,500	11,286,062	257,562			

支出の部 (単位:円)						
科 目	予算額	決算額	増△減	備 考		
事業費	5,710,000	5,533,463	△ 176,537			
1 総 会 費	220,000	144,061	△ 75,939	会場費、各種御礼、懇親会費補助金		
2 会 議 費	40,000	37,913	△ 2,087	月例役員会、学校・PTA昼食会等		
3 支部助成費	1,350,000	1,269,600	△ 80,400	会費還元、支部総会祝儀等		
4 会報発行費	2,000,000	2,108,199	△ 108,199	会報印刷代、郵送料等(H29.3.1送料含む)		
5 入学・卒業記念代	350,000	214,400	△ 135,600	卒業生記念品代(入学記念品代は前・次年度で)		
6 「鳩の会」助成費	1,500,000	1,300,000	△ 200,000	NPO「鳩の会」研修助成60万、会館維持70万		
7 その他事業費	250,000	459,290	△ 209,290	大会出場補助、ホームカミング祝儀、落成式、他		
8 慶 弔 費	120,000	157,528	△ 37,528	弔電・供花、餞別、卒・入学式生花など		
9 旅 費 交 通 費	450,000	351,280	△ 98,720	支部総会、役員会等会議の旅費		
事務局費	2,820,000	1,944,804	△ 875,196			
10 雑 給	1,900,000	1,326,465	△ 573,535	事務局関係謝礼、各種御礼、他		
11 消 耗 品 費	200,000	26,222	△ 173,778	振替用紙、用紙類、事務用品		
12 通 信 費	450,000	397,852	△ 52,148	電話・ネット料金、はがき、切手、等		
13 電算処理費	40,000	25,142	△ 14,858	ソフト操作指導料		
14 事務局管理費	230,000	169,123	△ 60,877	光熱費(旧事務局)、複合機リース代、他		
15 手 数 料	200,000	159,562	△ 40,438	年会費取扱手数料、振込手数料		
16 特別基金会計積立	1,000,000	0	△ 1,000,000	(事務作業間に合わせ)		
17 雑 費	350,000	61,713	△ 288,287	接待茶業、新聞広告、卒業アルバム等(移転費用H30)		
18 予 備 費	378,500	75,600	△ 302,900	同窓会旗		
合 計	11,028,500	8,283,950	△ 2,744,550			

平成30年度一般会計予算書

収入金額	14,342,200円	支出金額	14,342,200円	
収入の部 (単位:円)				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	備 考
1 繰 越 金	3,002,112	1,148,379	1,853,733	前年度より
2 入 会 金	2,800,000	1,680,000	1,120,000	10,000円×新入生280人
3 年 会 費	8,000,000	8,000,000	0	振込1,400人、支部2,600人
4 協 力 金	300,000	200,000	100,000	同期会ホームカミング寄付
5 校 友 会 費	240,000	0	240,000	3,000円×中学新入生80人
6 雑 収 入	88	121	△ 33	利息、会館予定地賃与料、コピー代
合 計	14,342,200	11,028,500	3,313,700	

支出の部 (単位:円)				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	備 考
事業費	8,945,000	5,710,000	3,235,000	
1 総 会 費	200,000	220,000	△ 20,000	資料作成費、懇親会費補助金、講師謝礼等
2 会 議 費	45,000	40,000	5,000	月例役員会、会報編集会議等
3 支部助成費	1,350,000	1,350,000	0	会費還元、支部総会祝儀等
4 会報発行費	2,800,000	2,000,000	800,000	会報印刷代、郵送料等(68号送料約60万円含む)、69号増頁
5 入学・卒業記念代	250,000	350,000	△ 100,000	入学生、卒業生記念品代
6 「鳩の会」助成費	1,800,000	1,500,000	300,000	NPO「鳩の会」(研修・会館維持)助成
7 その他事業費	2,500,000	250,000	2,250,000	大会出場補助、ホームカミング祝儀、芳名簿・芳名板、他
8 慶 弔 費	180,000	120,000	60,000	香典、弔電、餞別
9 旅 費 交 通 費	420,000	450,000	△ 30,000	支部総会、役員会等会議の旅費
事務局費	2,320,000	2,820,000	△ 500,000	
10 雑 給	1,600,000	1,900,000	△ 300,000	事務局関係謝礼、各種御礼、他
11 消 耗 品 費	100,000	200,000	△ 100,000	封筒、用紙類、事務用品
12 通 信 費	450,000	450,000	0	はがき、切手、電話・ネット料金等
13 電算処理費	30,000	40,000	△ 10,000	ソフト操作指導料
14 事務局管理費	140,000	230,000	△ 90,000	複合機リース代、他
15 手 数 料	200,000	200,000	0	年会費取扱手数料、振込手数料
16 特別基金会計積立	1,500,000	1,000,000	500,000	会館維持・100周年のため特別基金会計に繰出し
17 雑 費	380,000	350,000	30,000	移転(H29分)、新聞広告、接待茶業他
18 予 備 費	397,200	378,500	18,700	
合 計	14,342,200	11,028,500	3,313,700	



ご挨拶 校長 高澤 邦明

赤地憲一同窓会長様をはじめ同窓生の皆様には日ごろより本校の教育活動に対しましてご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

本年度4月より着任いたしました校長の高澤邦明(ご)さまは、森山弘之前校長の後を引き継ぎ、創立95年目を迎える伝統ある屋代高等学校に就任されましたことは私にとりまして大きな喜びであるとともに、その重責をひしひしと感じているところであります。

3月18日には鳩会館の落成式典が無事終了し「魂の故郷 屋代」がより一層充実、発展しますことを心よりお慶び申し上げます。

桜が満開の4月5日に入学式が行われ、中学生80名、高校生280名の新生を迎え、新年度がスタートいたしました。ちょうどその1ヶ月前の3月には、中高一貫生の1期生を送り出しました。全体では東京大学3名を始めとして、旧帝大11名、国立大学99名の現役合格者を輩出いたしました。一貫1期生が卒業した今年度は6年間の教育の総括・検証を、次の学年へそのノウハウを如何に継承していくかが

平成29年度卒業式

高校第70回の卒業式は、平成30年3月3日に行われ、272名の若鳩が母校を後に、大空へ飛び立って行った。平成24年度入学の中高一貫生が初めて卒業を迎えたことから、赤地会長は、旧屋代中第1回卒業式(昭和3年)での小山保雄校長の「学校の開拓者として

平成30年度入学式

平成30年度の入学式は、4月5日(木)に挙行され、附属中学第7期生80名、高等学校280名が、晴れて「鳩が丘」の眞となった。

新しく着任した高澤邦明校長は、「刻々と変化する時代に対応する学びの深さを自ら追求する姿勢を持って」と訓示した。赤地同窓会長はアメリカの教

課題となつていきます。一貫生に限らず選抜生も含めた屋代高校全体の進学実績の向上に繋げてまいりたいと考えています。昨年度はSSH関連事業においても様々な大会、コンテストにおいて優秀な成績を上げております。長野県学生科学賞では県知事賞「イカダモのミジンコ及び糖による影響」を始め、県議会議員賞、優良賞4作品など全10部門のうち7部門を受賞致しました。また、男女ハンドボール部のインターハイアベック出場を始め、班活動においても本校の活躍が著しいところであります。校是である質実剛健・文武両道の伝統を、生徒達は様々な場面でしっかりと継承してくれております。

これまで本校が積み上げてきた成果を今後さらに充実、発展させ、生徒の思考力、判断力、表現力、創造力の向上による高い進路目標の実現、さらに将来、社会や人々のために貢献できる人材の育成に向け、一層の努力を注いでまいりますので、引き続きご理解ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。結び、屋代高校同窓会の益々の発展を祈念してご挨拶といたします。

母校の現況・後輩の活躍

平成29年度卒業生受験結果 国公立合格127名

東大3、東北5、名古屋1、大阪2、医学部医学科1、信州26

新課程入試移行3年目の昨年度入試では、全国的な入試動向としては、前年から引き続き文高理低の傾向であり、それに伴って私大の受験生が増加した。本校の入試結果は貫生が初めて卒業するということもあり大きな注目を集めたが、本校の志望動向は、教育学系、理工系への志願集中に加え、文系の人気回復から、人文、経済系の志願者が増えた。首都圏私大への進学傾向も微増しているが、私大は合格者数を絞る傾向にあり、合格は難しくなっている。また、「地元・近県国公立大」指向は続いており、地元信州大への受験者数は、前年よりははるかに減ったものの、最多であることは変わらなかった。

進学実績は、現役生では東北5、東京3、名古屋1、大阪2の難関大合格に加え、信州大26(医学科1)、金沢9、富山8と県内4位の国公立大合格者数127名を数えた。私大に関しては国際基督教や東京理科などに複数の合格を果した。また、既卒生も健闘し、信州、富山、群馬、徳島の医学科、北海道、九州などの難関大へ合格している。

屋高生は「文武両道」を全力で追求する中で「質実剛健」の精神を身につけ、受験においてもその集大成として進路実現を成し遂げている。今後さらなる多くの生徒がより高い目標・挑戦し、各自の進路希望を実現することを期待したい。

2018年度入試結果 (現役・既卒生 延べ合格者数 大学別) (5.17現在)

1. 平成29年度入試 合格者数

Table with columns: 校種別統計, 現役, 既卒, 合計. Rows include 国立大, 公立大, 国公立大, 私大, 短大, 専門学校等.

2. 国公立大学合格者数

Table with columns: 国立大学, 現役, 既卒, 合計. Rows list various national and public universities like 京都教育, 大阪, 神戸, etc.

3. 私立大学合格者数

Table with columns: 私立大学, 現役, 既卒, 合計. Rows list private universities like 帝京平成, 東海, 東京経済, etc.

4. 短期大学合格者数

Table with columns: 短期大学, 現役, 既卒, 合計. Rows include 三重短, 短大.

5. 専門学校・大学校等合格者数

Table with columns: 専門学校・大学校等, 現役, 既卒, 合計. Rows include 専門学校, 大学校.

6. 私立大計

Summary table for private universities with columns: 私立大計, 現役, 既卒, 合計.

文化系班等も 全国大会へ

文学班

俳句甲子園へ二年連続出場 私たち文学班は、6月10日に群馬県前橋市で開かれた第21回俳句甲子園地方大会(北関東・信越大会・前橋第会場)で優勝し、全国大会へ出場できることになりました。

ギター・マンドリン班

今年も全国大会(大阪)へ 私たちギター・マンドリン班は、1年生13名、2年生14名、3年生8名の計35名で毎日楽しく活動しています。

将棋で松本泰河君(3年1組)全国へ

5月12・13日に松本市で行われた県大会において松本泰河君が準優勝。全国大会(8月9・10日 於千曲市)に出場を決めた。

竹鼻友希君(3年1組)は そろばんで全国へ

5月20日に長野市で開催された「2018年そろばん競技大会」で、竹鼻友希君が優勝。全国大会に駒を進めた。

全国総合文化祭で 新聞班の活躍期待

8月7日から11日にかけて「2018信州総文祭」が長野県の各会場で開催されます。私たちはその運営を行う生徒実行委員会として活動しております。屋代高校からは記録編集部に1人、広報デザイン部会を私を含めて3人が所属しています。

ハンドボールができる幸せな環境に感謝し、長野県すべての高校と、そして男子の思いを背負い、最高の舞台で自分達らしく戦ってきます。

(3年4組 廣間 菜月)

女子ハンドボール班 3年連続インターハイへ (23回目の出場)

平成30年度 長野県高校総体体育大会結果

Table with columns: 競技, 成績, 備考. Rows include Handball, Judo, Tennis, Karate, Mountain, Swimming.

女子ハンドボール班

主将 米澤 僚花

ついに3連覇。多くの応援してくださった方々本当にありがとうございました。県大会の決勝(東海大学附属諏訪高等学校との試合。30対12で勝利)は今までの公式戦の中で一番楽しかったです。しかし県大会優勝はあくまでも通過点であり、私達の目標は「全国で勝つこと」なので、インターハイまでの1カ月で自分達の課題をクリアし、よりよいチームに仕上げたいと思います。

たくさんの人に支えていただき、ハンドボールができる幸せな環境に感謝し、長野県すべての高校と、そして男子の思いを背負い、最高の舞台で自分達らしく戦ってきます。

ホームカミング鳩会・同期会・支部総会

ホームカミング・同期会予定
・8月11日(土) 高58回
・8月11日(土) 高48回
・9月15日(土) 高39回
・10月1日(土) 高19回
・12月6日(土) 卒寿鳩会

第19回生第38回同期会

幹事 渡辺 一成
期日：平成30年6月20日(水)
場所：上田温泉 梅村うぐいす亭
人数：26名
今日で38回目となる同期会は、午前中に川中島カントリークラブでのゴルフコンペを終えた者も合流して、計二十六名で午後六時半に開始された。



幹事の田沢明徳君の挨拶に続いて、同窓会館への挨拶について、同窓会館への寄付について、抜群の結束力をみせた同期生に対し、渡辺理事から感謝の意が表せられた。また、ここまで38回の同期会の開催に毎年骨を折ってくれた杉原信男君を顕彰したい、という動議が出て、全員一致で承認された。この後、栗林同窓会副会長から、12月1日(土)に、メルパルク長野にて、高19回のホームカミング鳩会の開催を企画している。なるべく多くの同期生を集めてほしい。古稀をみんな「祝おう」との呼びかけがあった。宴は9:00を一区切りとして解散。宿泊する者達は場を移して、小雨ながら気持ちのよい一夜だった。

支部総会

「霞が関鳩会」発足

期日：平成30年2月24日(土)
場所：千代田区丸の内
「宮崎料理万作」
人数：6名

宮本真司氏(高31回)が、厚生労働省の医薬生活衛生局長に就任されたことから、中央官庁に職を奉じる者の「霞が関鳩会」が発足しました。国会開会中のお忙しい時期でしたが、国の直面する課題や高校時代の懐旧談等に花を咲かせ、意義深い楽しいひとりと過ごしました。事務局からは東京鳩会がこの日の夕刻、四谷で開催されたことから、赤地会長と徳永事務局長が出席しました。



参加者は 宮本真司(厚生労働省医薬生活衛生局長・高31回)、白旗和也(文部科学省OB、日誌正文大教授・高34回)、日誌正文(厚生労働省専門官・高36回)、宮澤康一(国土交通省鉄道局総務課長・高37回)。なお、小林洋司(厚生労働省大臣官房審議官・高32回)、豊城浩行(文化庁文化財部参事官・高32回)、宮坂祐介(国土交通省土地建設局国際課長・高38回)の諸氏は、都合がつかず欠席でした。

県庁鳩会

幹事長 高田真由美(高31回)
期日：平成30年2月16日(木)
場所：犀北館
人数：46名(含来賓5名)
平成二十九年度の「県庁鳩会」の総会、懇親会を開催しました。総会では、平成二十九年度の事業報告、三十年度の役員を決定しました。新支部長には若狭利行氏(高31回)を選出。その後の懇親会では、同窓会からは赤地会長、栗林副会長、徳永事務局長、学校からは近藤教頭先生そして、

高橋宏典議員をお迎えし、盛況に開催しました。学年や部署を越えた交流を図り、思い出に現況に話を花が咲きました。更に、元応援団長近藤浩氏(高41回)のリードで校歌を斉唱し、団結を一層深めました。同窓会に対しては、創立百周年に向けた寄付を行いました。

館のこと、進学状況などの話をしていた。志部長からは支部の現状、会計報告があった。これからの運営方法についての話し合いを持った。引き続き支部活動を活発にするよう、に提案があり、役員改選は次回に持ち越しとなった。次回は多くの会員が集まることを期待し、懇親を深めた。

び寄附者名簿の説明、在校生の文武両道に活躍している報告等がありました。続いて事業報告・計画案、会計決算・予算案の承認。本年は役員改選の年でしたが、三役留任となりました。懇親会では魂の故郷を偲び、世代を越えて親睦を深めました。校歌を高らかに斉唱し、万歳三唱で再会を約して散会となりました。

会計報告、事業計画を承認し、本年度は役員改選が行なわれ、宮下忠之支部長が退任し、新たに清水信五支部長、山岸敏明副支部長(兼事務局)が選ばれました。記念写真撮影後、懇親会に入り、出席者のスピーチ、活発な意見交換等楽しく過ごし、最後に校歌斉唱して散会しました。

※諸事情により、次回は第64回同窓会コンペ(平成30年9月19日(水)、長野南ゴルフ倶楽部)に入れたいただき、合同(W)コンペとして開催します。

会館落成記念講座
第三回「戌の満水」
同窓会館完成の教養講座として、4月7日(土)10時より、「戌の満水」千曲市・松代地区を中心に「市・松代地区を中心に」が開催された。講師は栗林秀夫氏(高19回卒。同窓会副会長)。

八幡支部

支部長 酒井貞之(高4回)
期日：平成30年5月19日(土)
場所：八幡公民館
人数：7名
来賓として赤地会長をお迎えして、新しくできた同窓会

川柳支部

支部長 小林 武(高16回)
期日：平成30年6月17日(日)
場所：サトウ会館
人数：13名
本会より高山吉富副会長、来賓として望月義寿市議をお迎えして支部総会を開催。高山副会長より鳩陵会館竣工の報告及

塩崎支部

支部長 宮下忠之(高13回)
期日：平成30年6月16日(土)
場所：サトウ会館「藤佳苑」
人数：16名
総会に先立ち、「鳩陵会館」の見学を実施し、徳永事務局長に、館内のご案内、ご説明いただき、念願の会館の完成に感慨を新たにしました。

同窓会

第63回屋代高校同窓会
ゴルフコンペ(5月10日)
於 南長野ゴルフ倶楽部
優勝 久保嘉男
準優勝 竹内健二
三位 小林 武

母校の教育活動支援「鳩の会」に101万円!

御礼と今後のお願

(一)鳩の会は平成3年に設立され、母校の教育活動ならびに教職員の研修等の支援を主な目的としており、平成29年度は81名の会員より101万円のご支援を賜りました(別表)。心より厚く御礼を申し上げます。主な母校支援の内容は次のとおりです。

【教育活動】

屋高フォーラム・SSH一人一研究・附属中関係(棚田体験学習・ニュージールランド研修引率助成・平和学習
【教員研修助成】
大学入試研究・ラーニングスキル研修、等

(二)今年度より、広く会員皆様のご賛助を募ります。母校支援のためにご協力をいただける方は、下記口座までお振込み賜れば幸いです。

(三)お振込み用紙による場合は、同窓会事務局にご一報いただければ、お送り申し上げます。
☎(026)274-3310

ゆうちょ銀行 口座番号 00570-0-44020 加入者名「鳩の会」

「鳩の会」(教育関係基金)ご芳志御礼

氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数
宮坂博敏	中18-5	滝沢勝人	高7	中村 勇	高18	鶴沢 学	高21	田澤 敏	高28	宮坂博昭	高34
市川昭男	中20	田中勇雄	高7	伊藤博光	高19	柳澤正一	高21	三浦俊幸	高28	轟 道弘	高35
瀬在幸安	高1	徳武正人	高7	小河原洋章	高19	吉川正徳	高22	柳沢 孝	高28	宮澤康一	高37
宇野 忠	高2	若林 忠	高9	栗林秀夫	高19	伊藤和好	高25	新井勝一	高29	島谷茂樹	高42
近藤成敏	高2	松澤修二	高10	高山吉富	高19	北島祥至	高25	新津知可子	高29	織 英子	高42
水澤雄也	高2	石坂信也	高11	徳高芳夫	高19	徳次男	高25	小林敏一	高29	山崎典久	高46
宮下 識	高3	田野口紘二	高12	野池滋美	高19	南澤道友	高25	市川能人	高30	倉崎哲矢	高46
井本昌邦	高4	松木孝一	高14	船木孝美	高19	安川幸廣	高25	三枝 是	高31	赤地陽子	高49
柳澤昭雄	高4	小林和男	高15	渡辺一成	高19	柴田幸一	高26	牧村浩明	高32	丸山みちる	高50
野口泰軌	高5	小林 武	高16	中村重一	高20	鶴澤秀夫	高26	宮澤典彦	高32	赤地佳代子	高51
宮本泰治	高5	赤地憲一	高17	水澤恒男	高20	浅井 淳	高27	宮原明和	高32	赤地健太郎	高54
中村郷見	高6	小林智秋	高17	南嶋俊三	高21	石原教一	高28	飯島由美	高33	児玉岳人	高54
細井隆輝	高6	中山和実	高17	石川佳一	高21	小泉 裕	高28	高村仁子	高33		
増田良吉	高6	村松友春	高17	杉浦一弥	高21	塩入正章	高28	中澤勇一	高33		

第33回鳩十六会コンペ
期日：平成30年6月8日(金)
場所：ウィーゴカントリー倶楽部
参加者：8名(高16回)
優勝 寺澤欣哉
準優勝 加藤芳孝
三位 町田和夫

第三回「戌の満水」
同窓会館完成の教養講座として、4月7日(土)10時より、「戌の満水」千曲市・松代地区を中心に「市・松代地区を中心に」が開催された。講師は栗林秀夫氏(高19回卒。同窓会副会長)。

第四回「知って得する遺産分割」

4月22日(土)10時より、「知って得する後見、遺言、遺産分割」が開催された。講師は柳澤修嗣氏(高25回卒。同窓会副会長)。「成年後見人制度」、「任意後見制度」、「遺言と遺産分割」という現代必須のテーマに沿って、財産管理、相続トラブル、そして遺産問題のさまざまな具体的事例が分かり易く語られた。

第五回「結婚相談の現状と課題」

5月20日(日)真新しい鳩陵会館にて、篠高同窓会結



近年の結婚観の変化や個人情報扱い等々多くの課題を踏まえ、どのような結婚支援ができるのか、今後研究を重ねたい。(報告 副会長 高山吉富)

時計のご寄贈

瀬在幸安博士から ホールクロック

名誉会員の瀬在幸安氏(高1回)から、同窓会館の完成を記念してドイツ製の完成時計が寄贈された。この大時計はブラックフォレスト(黒い森)の呼び名で有名な、南ドイツの森から得られた良質な木材と、古くからのドイツクロックの伝統技術を受け継いだ手作りの名品。鳩陵ホールの入り口に置かれている。



屋代支部から

屋代支部からは壁掛け式の丸い大時計が寄贈された。鳩陵ホール入り口の中側に掛けさせていただきます。



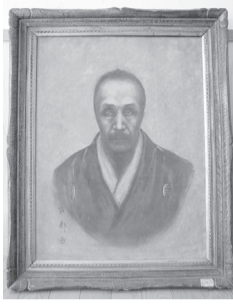
叙勲受章者

平成30年春の叙勲の栄に浴されました。誠にありがとうございます。

- 旭日小 綾章
- 倉田竜彦氏(高15回)長野市
- 栗林正清氏(高18回)長野市
- 瑞宝小 綾章
- 窪田芳夫氏(高16回)長野市
- 小林 修氏(高16回)千曲市
- 瑞宝双光章
- 吉川弘義氏(高15回)千曲市
- 瑞宝単光章
- 湯浅幸美氏(高17回)千曲市

事務局移転の掘り出し物

同窓会館が完成して、これまで使用していた事務局を明け渡すにあたり、昔から引き継がれてきた様々なものを整理した。幕末の水戸藩の学者藤田東湖の書(拓本)、初代校長小山保雄先生が裏書きをした佐久間象山の肖像画(高3回寄贈)、文学博士飯島忠夫氏の書、王羲之の書(拓本)などもあった。捨てるわけにはいかない。そんな中



佐竹盛富先生の手になる校歌の真筆の軸があった。生徒手帳にある歌詞と表記が違う。「心おどる」が「心躍る」となっている。「魂の故郷やしろ」は漢字で「屋代」となっている。書家川村龍洲氏(高18回)は書家として「心躍る」の方がバランスがよい、とのこと。漢字で書いてくださったのだが、それが正しかったのだ。会館玄関に飾られている。物と心と一母に何を残し、何を継承していくか。大切な視点だ。東湖の書、象山の肖像画、そして校歌の真筆などもしっかり事務局で保管している。

長谷川五作先生 遺品寄贈される

長野市松代町代官町在住の長谷川徹氏(高38回)より、先生(五作先生)の遺品の一部が同窓会に寄贈された。徹氏は「屋敷や遺品の管理は大変なこと。遺品のことをよく理解している方々に保管してもらい、母校の後輩たちの学びの一助となれば」と思い寄贈することになりました。同窓会としては第5回会議室の一隅に展示場所を設け公開することとしている。

矢羽勝幸氏(高16回) 信毎賞受賞

矢羽勝幸氏(二松学舎大学文学部客員教授・高16回)は、この度多年に亘る近世俳諧研究(二茶研究)の業績により、第25回の信毎賞を受賞した。上田市在住。高校時代は福沢武一先生(国語)の母校に在職し、33年(昭和38年)の授業に魅了され国文学を志し、書店で見つけた小林計一郎(1919年・2009年)の「一茶」に関する本に出会い「一茶研究」に入る。「一茶全集」(昭和55年)、「一茶の総合研究」(昭和62年)、「一茶大事典」(平成5年)の刊行などで実績が評価され、一茶研究の第一人者とされ、「一茶全集」では、芭蕉祭文部大臣賞と毎日出版文化賞を受賞された。

新刊・既刊の紹介

徳武 正人 著(高7回) 『繊維の歴史ともやま話』(ブックコム) 現職の頃、主に繊維関係の立案や施行に携わった著者が、その経験を通して得た知識を著した本。人類が昔からまとってきた繊維の長い歴史と併せて、繊維に関わる興味深いエピソードをまとめた2冊です。今は懐かしい養蚕にまつわる話も多く掲載されています。

改めて歴史の面白さを味わえる大作で、一冊目は四〇ページ、続編もあります。

(副会長 栗林秀夫)

中澤 栄次 著(第18回)

『ことわざスクランブル』 他2冊

日本語のことわざや格言に、英語、ドイツ語で同様の本を添えた本を自費出版。「表現を読み比べ、先人たちが短い言葉に込めた深い意味をかみしめてほしい」と中澤氏。36年かけて出来上がった労作に頭が下がります。更に9ヶ国の言語に集約した『ことわざワールド』も出版。現職の高校生・中学生にもぜひ役立ててほしいと、3冊を同窓会に寄贈。問い合わせは、中澤氏へ(0266-278-8348)

村山 英治 著(中3回) 『大草原の夢：近代信濃の物語』(昭和61年、新宿書房) 村山 新治 著 『上野発5時35分』(平成30年同)

村山英治氏は旧屋代町生まれで、長野師範学校卒業、昭和12年芸術映画社に入り、昭和30年桜映画社を設立。児童劇映画「お姉さん」と一緒「ガベネチア国際映画祭」でグランプリ受賞(昭和32年)。昭和54年紫綬褒章受章。「大草原の夢：近代信濃の物語」は、幕末から太平洋戦争終戦までの近代信濃の民衆の記録と、自らの個人史を重ね合わせ、雄大なスケールで描く長編歴史小説。

『上野発5時35分』は、英治氏の弟・村山新治氏の作。副題として「私が関わった映画、その時代」とあり、戦後の混乱期「ひめゆりの塔」、「大地の侍」、「警視庁物語」上野発5時35分など多くの映画で監督をつとめた映画製作の自叙伝。(いずれも英治氏の甥村山義博氏(高21回)よりご寄贈)

計報(敬称略)

宮坂 博敏氏 (初代千曲市長、中学第18回) 3月4日、90歳。昭和23年長野県庁に入り、昭和61年県土木技監から更埴市の助役に就任。平成元年、更埴市長選に初当選以来、4期14年にわたり市長を務めた。平成15年の合併に伴う千曲市長選では初代千曲市長に(1期4年間)。

山崎崎正先生(社会科) 2月5日。74歳。昭和56年(平成3年)まで在職。原田信一先生(国語科) 5月14日。70歳。昭和51年(昭和55年)まで在職。

事務局通信

同窓会館が完成して以来、様々な方々が母校を訪ねて来られるようになり、懐かしさと、会館を見学したい、というご様子です。6月16日(土)には塩崎支部の方々が支部総会の前にも同窓会館を見学し、それから総会へと移って行かれました。高校7回の方々も同期会を計画なさり、お見えになられたとのこと。(開館前の時間帯だったため、対応することができませんでした。あしからず)また、数名のグループや、個人で訪ねて来られた方もいらっしゃいます。同窓会館の開館時間は、月曜日(金曜日)の午後1時30分から5時30分までです。

第15回屋高フォーラムのご案内

・期日 平成30年9月29日(土) 午後1時~4時30分
・場所 更埴文化会館
・内容 「屋高フォーラム・オーケストラ」による音楽と講演会

平成30年6月12日現在

宮下 卓二(中7)	平成30年2月24日
中村和郎(中15)	平成29年11月11日
半田彌太郎(中16)	平成30年1月11日
塚田 育丈(中17)	平成29年11月3日
坂口 昭雄(中17)	平成30年2月3日
小林 廣(中18)	平成29年12月7日
小林 重之(中18)	平成30年5月29日
奥村 敏栄(中20)	平成29年10月14日
山崎 孝義(高1)	平成29年12月18日
山崎 慎一(高8)	平成30年4月22日
田中 延幸(高5)	平成28年7月11日
中村 忠勝(高6)	平成30年2月16日
滝沢 康二(高6)	平成29年3月29日
田辺 皓一(高6)	平成30年3月31日
近藤 浩一(高7)	平成30年2月15日
坂口 敏夫(高8)	平成29年10月5日
角田 孝夫(高8)	平成29年9月29日

小崎 國光(高10)	平成28年8月15日
浦澤 規裕(高10)	平成28年10月31日
宮下 俊男(高10)	平成30年5月10日
内田 龍徳(高11)	平成29年12月16日
上原 敏昭(高13)	平成29年2月24日
小林 洋光(高15)	平成30年2月21日
渡辺 一夫(高16)	平成30年2月7日
窪田 健(高18)	平成30年1月8日
寺島 哲也(高20)	平成28年6月26日
湯本 民夫(高20)	平成29年10月4日
伊藤 正夫(高25)	平成24年11月
市川 智治(高26)	平成30年1月27日
酒井 吉弘(高26)	平成30年3月26日
廣田由佳里(高33)	平成29年4月19日

謹んで哀悼の意を捧げます。

平成29年度末 人事異動(敬称略)

転出(異動)・退職者					転入(異動)者				
教科	職名	氏名	転出先等	備考	教科	職名	氏名	前任校等	備考
数学	校長	森山 弘之	定年退職	在2年	理科	校長	高澤 邦明	野沢北	
国語	教諭	石原 英樹	松本旭町中 教頭	在4年	国語	教諭	石井 和馬	辰野中学校	(附属中)
国語	教諭	宇都宮 仁	野沢南 教頭(定)	在7年	国語	教諭	白鳥 美香	長野	
国語	教諭	尾崎 修二	松本深志	在6年	国語	教諭	水上 諒	茅野	
地公	教諭F	寺田 公一	再任退職	在8年	地公	教諭	中村浩一郎	須坂	
数学	教諭	垣内 孝康	伊那東部中学校	在3年	数学	教諭	児玉 太平	日義中学校	(附属中)
数学	教諭	北原 司	諏訪清陵	在7年	数学	教諭	佐藤 勉	長野	
数学	常講	木全 あや	戸倉上山田中学校	育休補充	数学	常講	宮原 理沙	東中学校	山村8/4復帰まで(附属中)
数学	教諭	谷口 徹博	長野	在6年	数学	教諭	丸山 博史	茅野	
理科	教諭F	小田切 亨	上田(再F)	在13年	理科	教諭	柳沢 克央	篠ノ井	
理科	教諭	西澤 秀夫	須坂創成(再F)	在5年	理科	教諭	宮原喜美男	上田	
英語	教諭	池田実千代	真田中学校	在4年	英語	教諭	小野まど佳	赤穂中学校	(附属中)
英語	教諭F	前嶋 功	上田東(再S)	在9年	英語	教諭	堀 裕	市立長野	
英語	教諭	丸山 拓磨	綿内小学校	在5年	英語	教諭	春日 秀紀	更埴西中学校	(附属中)

鳩の目

武士道を持ち出すまでもなく、ついこの間まで、日本人は「卑怯」を強く憎む精神を持ち合わせていたように思う。▼昨今の政界やスポーツ界を見ていると、その精神はすっかり忘れ去られたらしい。文書改竄問題や某大学アメフト部の問題などは、テレビを見ているこちらが恥ずかしくなる。「嘘をつかない」「卑怯な行為は絶対にしてはいけない」これは学校だけでなく、家庭においても教育の基本の姿勢だろう。陰湿な「いじめ」の背景には、社会全体の「卑怯」を戒める精神の劣化、教育力の弱体化が考えられる。▼屋代高校も附属中学も「卑怯」とははずと無縁であってほしい。そうである時、母校は真に「魂の故郷」たり得るのであるから。

編集委員 徳高 芳夫(高19) 吉川 正徳(高22) 宮原 一治(高25) 中津佳津恵(高47)